

# ともかわさき News

第14号 令和8年2月発行

1996～社会福祉法人ともかわさき30年～2026

## <アトリエひらま～ゆるっと書道～>

アトリエひらまにて今年初めての書道教室を開催し、皆さんで書初めに取り組みました。

書道のあとは、焼き芋タイムも実施し、温かい雰囲気の中で交流が深まるイベントとなりました。

相談交流ひらまでは、創作活動や季節の催しなど、利用者の皆さんが心豊かに過ごせる場づくりを進めてまいります。



## <ダンス教室>

年が明けてからのダンス教室は、比較的落ち着いた雰囲気の中で、参加される皆さんがそれぞれダンスを楽しんでいます。

今年も私たちは、「障害があってもなくても、誰もが一緒に楽しい時間を過ごせる場づくり」を大切にしながら活動が続けていきます。ダンスを通じて人と人がつながり、インクルーシブな社会の実現に少しでも貢献できるよう、引き続き取り組んでまいります。



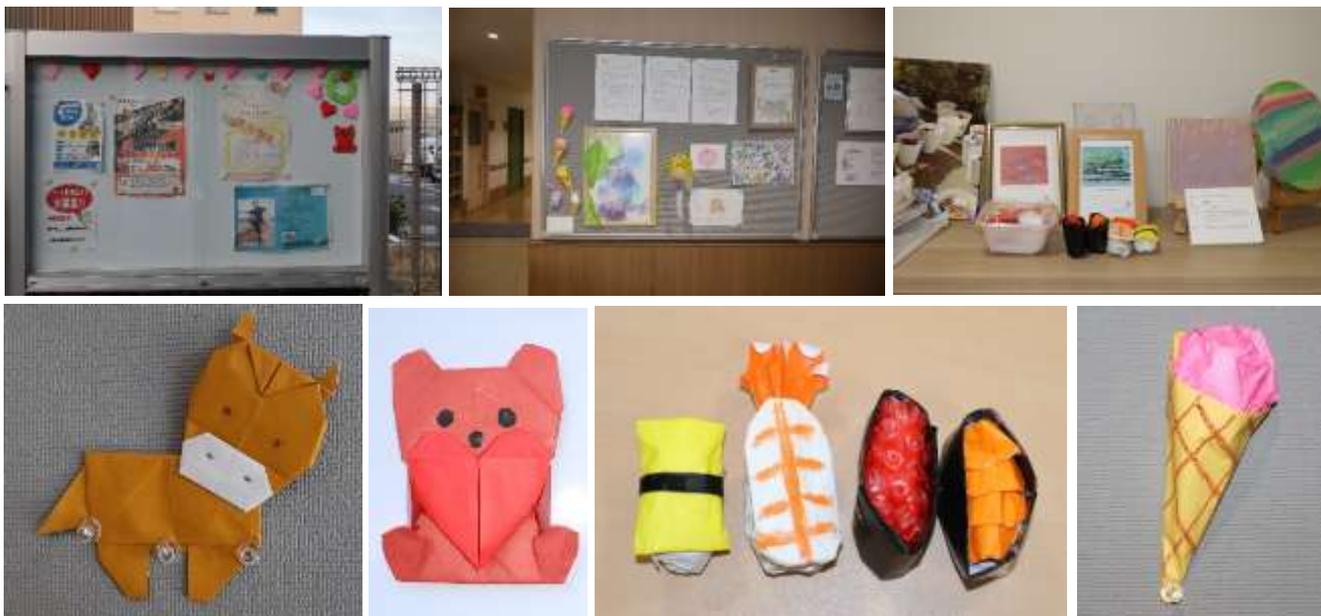
## <ボランティア>

### ・折り紙

地域の方から、折り紙作品を定期的に届けていただいています。いただいた作品は、ひらまの掲示板や相談室で大切に飾らせていただいています。

作品を送ってくださる方は、持病の影響でこれまで社会との関わりが多くありませんでしたが、折り紙を通じた交流を続ける中で、「社会とつながっていると感じられて嬉しいです」と喜びの声をいただきました。

相談交流ひらまでは、これからも地域の皆さまに寄り添い、交流につながる活動を広げていきたいと考えています。



## <パラアート作品常設展示：川崎市生涯学習プラザ>

生涯学習プラザで開催中の「パラアート作品常設展示」を見学しました。アトリエ聖風様の作品は、色づかみや構図、テーマの捉え方などに独自の世界観があり、作品を通して作者の思いや感性がしっかりと伝わってくる内容でした。

改めて、パラアートが持つ力強さや、人の心を動かす豊かな表現の可能性を感じる貴重な機会となりました。

『ともかわさき』としても、地域におけるパラアートの魅力をさらに広め、発信していく取り組みを大切にしていきたいと思っています。



## <菜園事業>

1月は、主に菜園の雑草取りや施設周辺の清掃活動に取り組みました。  
また、昨年収穫したさつまいぶを焼き、皆さんで美味しくいただく時間もありました。  
ボランティアの参加も増え、より充実した活動となりました。



## <研修 in ともかわさき>

### 『障がいのある人のきょうだいに対する支援の必要性とその支援』

ひらま体育室で「障がいのある人のきょうだいへの支援」をテーマに、きょうだい会 SHAMS 代表・滝島先生を講師にお迎えしました。

講演では、きょうだい特有の悩みやライフステージの変化、そして先生自身の体験談を交えながら、家族支援の重要性について学びました。

グループワークでは、家族の絆やきょうだいの結婚など、リアルな声を共有する貴重な時間となりました。

今回の学びを通じて、私たち支援員も「本人だけでなく家族全体を支える視点」の大切さを再確認しました。

きょうだいの進学や一人暮らし、結婚など、本人にとっても大きな変化となる場面で、適切な支援が必要であることを改めて感じました。



## <ともかわさき事業再編適正化進行中>

2025年から進めていました事業の再編適正化、①生活介護事業所「どリーむ」については廃止決定、更地にして川崎市に返還します。②地域相談支援センター「ドルチェ」については事業返上決定、令和7年内に終了し新たな事業者への引継ぎを行っています。③「三田福祉ホーム」については指定管理業務が令和8年3月末で終了します。④「共同生活援助事業事務所」については令和8年度から中野島4丁目に移設します。⑤とも共同生活事業所「なかのしま3～6」については令和7年度に男女居室の同一棟化を行いました。⑥とも共同生活事業所「なんぺい」については関係法令に適合するよう協議しています。⑦とも共同生活事業所「(仮称)なかのしま7・8」の開設準備を進めています。

## <川崎市社会福祉協議会主催令和8年新年賀詞交換会>

2026年1月18日、中原区小杉町のホテル精養軒ホールで福祉関係者の賀詞交換会が開催されました。

市社会福祉協議会会長の主催者挨拶、市長、市議会議長、全町連会長、県社協会長の賀詞挨拶、来賓紹介後に乾杯があり、懇親・賀詞交換となりました。席上、健康福祉局長から「先日の成人の集いは無事終わったと報告がありました。車椅子の方が何人か来場したと聞いている。」と障害者の集いに関して心配してくれていました。



## <COLORs展2025運営委員会>

1月28日（水）にColor sかわさき展の運営委託を受けている川崎市障害福祉施設事業協会の運営委員会が「ちどり」で開催されました。2025展の報告と総括を行いました。展示作品数は211点（19増）で過去最高、出展団体数も41団体（2増）で過去最高、来場者数は1446人（102増）で最高となりました。期間中にワークショップ（7件）、制作動画放映（5名）、巡回展（新百合ヶ丘OPA）、おうちでCOLORS展、中学校支援級生徒見学（6校）なども行いました。絵画の販売支援は数・金額とも減少となりました。来場者アンケート結果は、初来場の方が49%（155人）、感想は98.1%の方から満足をいただいています。

追加の巡回展が小杉のギャラリーflat（2/14～19）と川崎のアトレ（3/17～26）で開催されます。

第10回となる2026展は11月7日から18日までの開催が予定されています。

## <Studio FLAT こすぎギャラリーオープニング>

2026年1月31日、中原区小杉町（自治会館跡地）にStudio FLATのギャラリーがオープンしました。

